

事業所名: グループホーム和楽

作成日: 令和7年 3月31日

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2 (2)	グループホームと地域をつなぐ通信の発行が例年に比べ減少した。	例年通りの発行ペースに戻す。	職員体制の急激な変化により発行自体が困難になったが、次年度は計画的に発行をしていく。	3か月
2	49 (18)	コロナ禍の間、外出の自粛が続いていたため、外に出る機会が減り、そのため家族・地域・園児(隣接乳児保育園)との交流も、減ってしまった。	日常的に外に出る機会を作り、1日の中で気分転換が図れるよう取り組み、少しずつ交流も取り戻していく。	日常においては、気候に合わせて中庭でのおやつや保育園への散歩(届出物を一緒に持っていくなども含め)・日光浴を行っていく。また、地域へのいこいサロンも、小人数からの参加を再開しつつあるが、家族との交流ができる行事も再開させる。	6ヶ月
3					
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。